

モン太とつちまるの植物日記

「葉の寿命」



4月に芽吹いた木々は、あっという間に花を終え、新緑に覆われています。

秋に葉を落とし、冬の間葉を付けていなかった木々「落葉樹」は、この時期に新しい葉を付けるので、冬と春の違いはとても大きいです。

対して、常に葉を付けている木々「常緑樹」は、一見するといつも同じように見えます。

ですが、常緑樹は、この春の時期に落葉し、新しい葉を付けているのが観察できます！

落葉樹の葉の寿命は春から秋の半年程度、日本の常緑樹の葉の寿命は1～3年のものが多いそうです。

今、広場にある常緑樹のアラカンやシラカン、クスノキのまわりには落ちた葉でいっぱいです！



花序

2015年4月23日撮影
広場 アラカン
2～3年の古い葉が落ち
新しい葉がつかます。
新旧混成します。



アラカン (常緑樹)



コナラ (落葉樹)



花序

2015年4月26日撮影
広場 コナラ
葉が白く見えます
花もつかました



2015年4月23日撮影
広場 クスノキ
1週間ほどで全ての葉を
落とし、完全に入れ替わります。
新しい緑色の葉と古い茶色の
葉が見られます。



クスノキ (常緑樹)

After
2015年4月26日撮影



Before
(No.2掲載)



クルミの花の成長